

令和4年度

学校関係者評価 報告書

評価期間

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

令和4年 5月21日

学校法人九州呉学園 専門学校日本デザイナー学院

本報告書は平成25年3月に文部科学省生涯学習政策局の作成『専修学校における学校評価ガイドライン』及び、特定非営利活動法人私立専門学校評価研究機構の作成『第三者評価システムの概要 Ver 4.0』に準拠し実施した。

【学校関係者評価委員会】

委員(業界関係者代表)

井上 憲一郎(井上総合印刷株式会社 代表取締役)

委員(業界関係者代表)

佐野 直樹(株式会社ダブルベース 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

日高 信生(株式会社ディーゼロ 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

宮崎 智文(トゥモローデザイン)

委員(高等学校代表)

宮武 一行

(学校法人恭敬学園 北海道芸術専門学校 福岡サテライトキャンパス キャンパス長)

委員(地域代表)

井浦 賢治(東住吉公民館 主事)

事務局

大庭 香代子 (校長)

野村 佳弘 (事務局長)

大賀 琢実 (教務課長)

目 次

1. 学校の教育目的と使命 P 3
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画 P 3
3. 点検項目の評価結果 P 4～11
 - (1) 教育理念 P 4
 - (2) 学校運営 P 4～5
 - (3) 教育活動 P 5～6
 - (4) 教育成果 P 6～7
 - (5) 学生支援 P 7
 - (6) 施設整備 P 8
 - (7) 学生募集 P 8～9
 - (8) 財務 P 9
 - (9) 法令順守 P 9～10
 - (10) 社会貢献 P 10
 - (11) 国際交流 P 10～11
4. 学校関係者評価委員の評価結果について P 12

1. 学校の教育目的と使命

目的：産業経済と生活文化に携わる有能なクリエイターを育成することを目的とする。

使命：クリエイターの職能上必要適切な教養と技術を習得させ、あわせて人間形成に努め社会人としての自覚と責任を持たせるよう指導することを使命とする。

【職能的指導方針】

1. 基礎知識、技術の習得
2. 専門基礎知識、技術の習得
3. 専門知識、技術の習得

プロとしての基本知識と技術の習得、創造性豊かな人材育成を教育指導方針とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・教育内容の整備：学科ごとに教育内容の見直しを図り、業界のニーズに合わせた高付加価値教育の徹底を行う。
- ・学習環境の整備：オンライン教育の整備と様々な感染症対策など学生が安心して学ぶことができる環境を整備し学生の学びを深める
- ・情報公開の整備：学園の基本情報等を公開し、外部の方への透明性と理解度を高める。

3. 点検項目の評価結果

自己点検・評価結果(4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)を基に学校関係者評価委員会で点検・評価を行った。

(1) 教育理念に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
1-1)	教育理念・教育目標は示されているか	4…適切
1-2)	学校の特色は示されているか	4…適切
1-3)	学校の将来構想は示されているか	4…適切
1-4)	学校の理念・目的・特色などが学生・保護者に周知されているか	3…ほぼ適切
1-5)	各科の教育目標、人材育成像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3…ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

保護者に対する周知徹底が課題である。前年度の学校関係者委員会で「もっと特長を前面に打ち出したわかりやすいホームページへ改定すべき」という意見があり、特長を前面に打ち出したホームページへの改定を進めている。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

□改善策

保護者への周知について、年に数回資料送付を行うと共に保護者会での情報周知を強化していく。

(2) 学校運営に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
2-1)	運営方針は定められているか	4…適切
2-2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4…適切
2-3)	運営組織や意思決定機能は示されており機能的な構成となっているか	4…適切
2-4)	人事や給与での処遇に関する制度は整備されているか	4…適切
2-5)	意思決定システムは確立されているか	4…適切
2-6)	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4…適切
2-7)	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4…適切
2-8)	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4…適切

□自己評価総評・取り組み

全項目で高評価を取得することができた。これまでの取り組みや考え方が少なからず職員、講師へ伝えることができた。引き続き明確で透明性をもった運営を徹底していく。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

職員と講師間での情報共有などコミュニケーションの課題は解決できたのか？

また、職員の中でも広報と教務の連携・情報共有を重視したほうが良い。

□改善策

職員・講師の連携については担任制、講師会、オンラインでの情報共有、アナログでの情報共有など、多くの施策をとっているが十分とは言えない。引き続き重点項目として対応していく。広報と教務の連携についても同様により効果的な連携方法を模索していく。

(3) 教育活動に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
3-1)	教育活動は教育理念等に沿った編成・実施方針となっているか	4・・・適切
3-2)	カリキュラムは業界の人材ニーズに対応しているか	3・・・ほぼ適切
3-3)	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4・・・適切
3-4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが反映されているか	3・・・ほぼ適切
3-5)	定期的カリキュラムの見直しはなされているか	4・・・適切
3-6)	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3・・・ほぼ適切
3-7)	成績評価の基準は明確になっているか	3・・・ほぼ適切
3-8)	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3・・・ほぼ適切
3-9)	授業評価は実施されているか	4・・・適切
3-10)	資格取得等に関する指導体制やカリキュラムはできているか	4・・・適切
3-11)	人材育成目標の達成に向けて授業を行う講師を確保しているか	4・・・適切
3-12)	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3・・・ほぼ適切
3-13)	関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成や向上のための取組が行われているか	3・・・ほぼ適切
3-14)	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3・・・ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

例年行っているような形の研修は新型コロナウイルスの影響もあり自粛し、オンライン型の研修をいくつか行ってきた。周知を徹底している取り組みについて昨年よりポイントを落としている項目もあるため、細かいヒアリングを実施する必要がある。職員、講師に対する情報の共有は重視して行うようにしているがより理解してもらえようなくみづく

りが必要となる。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

オンライン授業での実践課題はどのように対応しているのか？

→アナログ授業は対面を基本として対応するようにしている。

Classroom も活用し日々微修正しながら対応している。

研修制度についてはオンラインを上手に活用することと、職員・講師が学びたい内容を中心に計画したほうが良い。

□改善策

講師分科会における意見集約およびより詳細な情報共有を行う。また職員・講師へのアンケート取得を行い、ニーズが高い研修を優先した研修計画を立てる。

(4) 教育成果に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
4-1)	就職率を向上させるための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-2)	資格取得の向上が図られているか	3・・・ほぼ適切
4-3)	退学者を減らすための施策は図られているか	3・・・ほぼ適切
4-4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3・・・ほぼ適切
4-5)	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3・・・ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

就職率、退学者対策等、新型コロナウイルスで苦戦した前年度よりは上昇させることができたが満足できる結果とは言えない。求人について新たな企業開拓や学生が抱える本質的な悩みをどのように把握するのかが、大きな課題となる。また、就職活動において講師との連携強化や他部署職員への理解度を深める取り組みも重要となる。より学校の取り組みを理解してもらうためにキャリア指導の勉強会も実施している。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

就職年度生だけではなく進級年度の学生に対して企業との接点を増やす取り組みを増やしたほうが良い。

リアルな仕事に触れさせることがとても重要。OBやOGとの接点も増やしたほうが良い。OBやOGとの接点は自分になりたい出口を早めに見つけるための糸口となる。

□改善策

求人企業の拡大のために企業訪問を重視して行う。職員・講師に対するカウンセリング研修の実施等、学生の本質的な悩みを引き出すための取り組みを計画する。

進級年度生の企業、OBOGとの接点は計画として実施してはいるが、新型コロナウイルスの影響もあり、予定より減らしていた。今年度は新型コロナウイルス対策も徹底できていることも踏まえ重要戦略として改めて重視していく。

(5) 学生支援に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
5-1)	就職に関する支援体制は整っているか	3・・・ほぼ適切
5-2)	学生相談などの支援体制は整っているか	3・・・ほぼ適切
5-3)	学生への奨学金等の経済的支援は整っているか	4・・・適切
5-4)	学生の健康管理に関する支援体制は整っているか	4・・・適切
5-5)	課外活動に関する支援体制は整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-6)	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-7)	保護者と適切に連携しているか	3・・・ほぼ適切
5-8)	卒業生への支援体制はあるか	3・・・ほぼ適切
5-9)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3・・・ほぼ適切
5-10)	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3・・・ほぼ適切

□自己評価総評・取り組み

職員・講師の理解度の違いが評価に大きく影響している。取り組みとして、教務課だけではなく職員全員で学生サポートができるよう学生相談の壁を低くすることを目的として職員紹介パネルの設置を行う。また家計が急変した学生対象に経済支援金を希望学生全員に支援するなど経済支援の対策も実施。など、学生サポートは状況に応じて都度体制を整え実施しているが詳細情報をどこまで見える化して理解を深めるかも課題となる。

□学校関係者評価委員会コメント・質疑

各項目を回答者が理解はしているのだろうか？すべてを見える化することが重要なのか？学校として重要ポイントと非重要ポイントを明確する必要があるのではないか？

□改善策

引き続き CrassRoom も活用しながら情報共有の徹底に努める。同時に学校として重要ポイントと非重要ポイントを明確にする。

(6) 施設設備に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
6-1)	施設・設備はカリキュラムに対応出来ているか	3…ほぼ適切
6-2)	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3…ほぼ適切
6-3)	防災体制は整っているか	4…適切

自己評価総評・取り組み

校舎建て替えから 6 年経つため機材入れ替えを進めている。昨年度はオンライン授業用の Macbook を購入。今年度は P C ルームの機材入れ替え、大型モニターの購入などを予定している。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

改善策

新型コロナウイルスの影響で大きく時代の流れが変わったことも踏まえ、引き続き古くなった機材の入れ替えを定期的に行っていく。

(7) 学生募集と受け入れに関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
7-1)	学生募集の活動は希望者の意向を配慮し適切に行われているか	4…適切
7-2)	教育内容を適切に学生募集に反映しているか	4…適切
7-3)	入学選考の時期・基準・方法は適正か	4…適切
7-4)	納付金は妥当なものとなっているか	4…適切

自己評価総評・取り組み

適正な学生募集を保っている。新型コロナウイルス感染症の影響による募集方法の変化への対応も行っている。新型コロナウイルスの影響で自粛していた高校訪問も再開していく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

改善策

オンラインを活用した広報戦略に対しより力を入れていく。

(8) 財務に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
8-1)	中長期的な財務基盤は安定しているか	4…適切
8-2)	予算・収支計画は有効かつ妥当か	4…適切
8-3)	会計監査は適正に行われているか	4…適切
8-4)	財務情報公開の体制整備はできているか	4…適切

自己評価総評・取り組み

公認会計士(監査法人)による会計調査を受け、私立学校法および寄附行為にもとづき、選任された2名の監事が財務会計監査を実施している。適切な財務管理を行っている。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

改善策

引き続き学園本部と連携し、透明性があり適正な財務管理を行っていく。

(9) 法令順守に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
9-1)	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
9-2)	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	4…適切
9-3)	自己評価の実施と問題点について改善に努めているか	4…適切
9-4)	自己評価結果を公表しているか	4…適切

自己評価総評・取り組み

法令や設置基準を遵守すべく最善の努力をしている。今年度は全項目で4ポイントを獲得しており、自己評価結果の公表についても周知を徹底したことが浸透したといえる。

学校関係者評価委員会コメント・質疑
事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

改善策
引き続き学校の取り組みを理解してもらえよう徹底していく。

(10) 社会貢献に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
10-1)	教育資源や設備を活用しての社会貢献はなされているか	4…適切
10-2)	学生のボランティア活動に対する支援は整備されているか	3…ほぼ適切
10-3)	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3…ほぼ適切

自己評価総評・取り組み
新型コロナウイルス感染症を考慮し、活動の自粛を余儀なくされた。今年度は学生の経験のために積極的に実施していきたい。

学校関係者評価委員会コメント・質疑
事務局からの報告・改善策で意見は一致した。

改善策
関係各所との連携を図り多くのイベントを実施していく。

(11) 国際交流に関すること

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
11-1)	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3…ほぼ適切
11-2)	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4…適切
11-3)	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4…適切
11-4)	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3…ほぼ適切

自己評価総評・取り組み
留学生の受け入れについては入国する留学生が新型コロナウイルスの影響で激減している

ことから非常に厳しい状況。マレーシア校の開校が確定したのでマレーシア校とも協力をしながら留学生受け入れにも力を入れていきたい。

学校関係者評価委員会コメント・質疑
どのような国から入学をしているのか？

改善策
新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら適宜募集活動を行っていく。

4.学校関係者評価委員の評価結果について

上記報告書は、学校関係者評価委員として、
妥当な評価であることを確認し、認めます。

令和4年 5月21日

【学校関係者評価委員会】

委員(業界関係者代表)

井上 憲一郎(井上総合印刷株式会社 代表取締役)

委員(業界関係者代表)

佐野 直樹(株式会社ダブルベース 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

日高 信生(株式会社ディーゼロ 取締役)

委員(業界関係者・卒業生代表)

宮崎 智文(トゥモローデザイン)

委員(高等学校代表)

宮武 一行

(学校法人恭敬学園 北海道芸術専門学校 福岡サテライトキャンパス キャンパス長)

委員(地域代表)

井浦 賢治(東住吉公民館 主事)